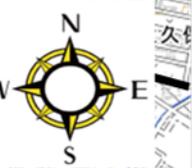


令和6年度 投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 志茂 大輔 (街路班長 芦田 渉)	内線	4362 (4474)
事業種目	街路事業	新規評価年度	平成26(2014)年度	現計画	新規評価時点
事業名	都市計画道路 あさぎりふたみ 朝霧二見線 えいがしま (江井島工区)	事業採択年度	平成27(2015)年度	総事業費	29億円
		着工年度	平成27(2015)年度	内用地補償費	17億円
事業区間	おおくぼちよう えいがしま 明石市大久保町江井島	完成予定年度	令和10 (2028)年度	令和3 (2021)年度	
		進捗率 (用補進捗率)	34% (45%)	—	—
		残事業費	19億円	—	—
事業の目的				事業内容 () 新規評価時点	
<p>当該路線は、国道2号及び国道250号を補完し、東播磨地域臨海部の東西交通を担う幹線道路である。</p> <p>○交通安全性の向上 通学や通勤に伴う自転車や歩行者が自動車交通が多い中、狭く不連続な歩道を通行していることから、歩行者及び自転車の通行空間を整備し、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○防災機能の強化 緊急輸送道路を補完する道路として、大規模地震時等の輸送経路を確保するため、拡幅整備を行う。</p>				<p>【延長】880m (都)江井ヶ島松陰新田線L=60m</p> <p>【構造規格】第4種第2級</p> <p>【計画幅員】2車線 車道6.0m 両側歩道3.5m 両側自転車専用通行帯1.5m〔全幅16.0m〕 (2車線 車道6.0m、両側自歩道4.5m)</p> <p>【現況交通量】R3 センサス 自動車：15,366台/日(13,971台/日) 歩行者：1,319人/12h(H26年実測) 自転車：667台/12h(H26年実測)</p> <p>【負担割合】国55%、県22.5%、市22.5%</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>・平成28年7月に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が改訂された。</p> <p>【新規評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①労務単価及び物価の上昇を受けた賃金等の変動に対処し、約2億円増額する。</p> <p>②用地交渉の難航により、事業期間を7年間延伸して令和10年度までとする。</p> <p>③自転車ガイドラインの改定(平成28年度)を受け、“自転車は原則車道”の方針から、道路幅員の再検討を行い、自転車歩行者道から歩道と自転車専用通行帯に変更する。</p>				
進捗状況	<p>①用地契約率 40件/88件(45%) 令和6年9月末時点</p> <p>②事業効果の段階的な発現のため、歩道未整備箇所が多い西側区間の整備を重点的に進めている。用地買収済みの箇所から工事を進めることで、江井島小学校における通学路迂回の解消等の事業効果の早期発現を見込んでいる。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応 方針(H27年度新規評価)	【審査会意見】 新規着手妥当	【対応方針】 —			
(1)必要性	<p>①沿道には、江井島小学校や江井島中学校、山陽電鉄江井ヶ島駅等が立地しており、多くの小中学生等が通学や通勤で利用しているが、自動車交通が多い中、狭く不連続な歩道を通行している状況である。</p> <p>②現道の車道幅員が狭いため、大型車両が通過する際は、非常に危険である。</p> <p>③過去5年間に34件の交通事故が発生している。</p> <p>④災害時には、避難場所となる江井島小学校へのアクセス道路が必要である。</p>				
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>①歩道及び自転車通行帯の整備や、車道の拡幅により、歩行者・自転車の安全確保と、大型車が多い現況交通を円滑に通行させることができる。</p> <p>②広幅員化により、建物火災や倒壊等が発生した際でも通行できる道路として、防災機能の強化を図ることができる。</p> <p>③地元自治会より早期歩道整備の要望がなされており、事業執行環境が整っている。</p>				
(3)環境適合性	<p>①歩道舗装を透水性舗装とすることで、雨水が地盤へ浸透し、ヒートアイランドの抑制や雨水流出抑制など都市環境の改善に寄与する。</p>				
(4)優先性	<p>①明石市を東西につなぐ幹線道路であり、交通量が多く通学・通勤での利用者が狭く不連続な歩道を通行し、危険な状況となっているため早期の対策が必要である。</p> <p>②江井島小学校区は、市内3番目に人口が多く、小学校児童数も市内7番目に多い地区であり、早期整備が必要である。(児童数 平成27年：789名、令和5年：753名)</p>				
再評価の 結果	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、自転車、歩行者の安全確保に資する事業であることから、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価）

事業名	街路事業	路線・河川名	都市計画道路 朝霧二見線（江井島工区）
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="167 212 391 302" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>位置図</p>  </div> <div data-bbox="1324 235 1516 403">  </div> </div> <div data-bbox="167 772 566 1041" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — : 事業区間 — : 整備済の都市計画道路 — : 未整備の都市計画道路 — : 事業中の他の路線 — : 緊急輸送道路 ● : 公共施設、学校等 </div> <div data-bbox="574 862 877 974" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>事業区間 L=880m</p> </div> <div data-bbox="1324 750 1516 1030" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事業箇所</p>  </div> <div data-bbox="1292 1030 1516 1064" style="text-align: right; font-size: small;"> <p>出典: 国土地理院</p> </div>			
事業進捗状況・予定		整備効果	
<p>全体 H27(2015) ～ R10(2028)</p>	<p>【事業費＝29億円】 延長：880m 用地補償件数：88件、3986m²</p>		
<p>事業採択～ 再評価まで H27(2015) ～ R6(2024)</p>	<p>【事業費＝10億円】 ・事業進捗率：約34%、用地進捗率：約45% ・江井島小学校周辺区間の整備を重点的に進めている。</p>		
<p>今後4年間 (予定) R7(2024) ～ R10(2028)</p>	<p>【事業費＝19億円】 令和10年度供用に向けて、事業を推進する</p>	<p>①安全で円滑な交通の確保 ②緊急輸送道路を補完する道路としての防災機能の強化</p>	

街路事業 都市計画道路 朝霧二見線〔江井島工区〕

位置図



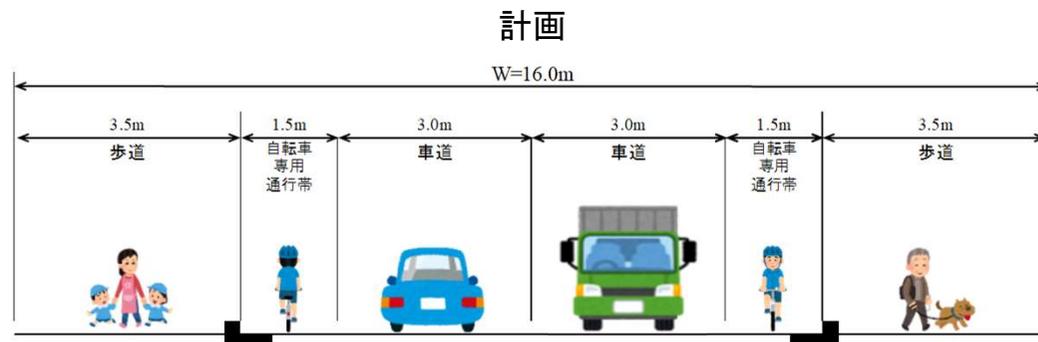
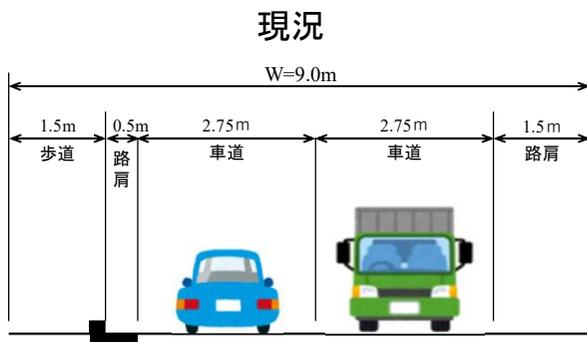
目的

- ①歩道及び自転車専用通行帯の整備による交通安全性の向上
- ②緊急輸送道路を補完する道路の拡幅整備による防災機能の強化

事業概要

事業区間：明石市大久保町江井島
 総事業費：29億円
 内用地補償費：17億円
 事業期間：H27～R10
 事業概要：歩道設置
 自転車専用通行帯設置
 延長：880m
 計画幅員：6m(全幅16m)

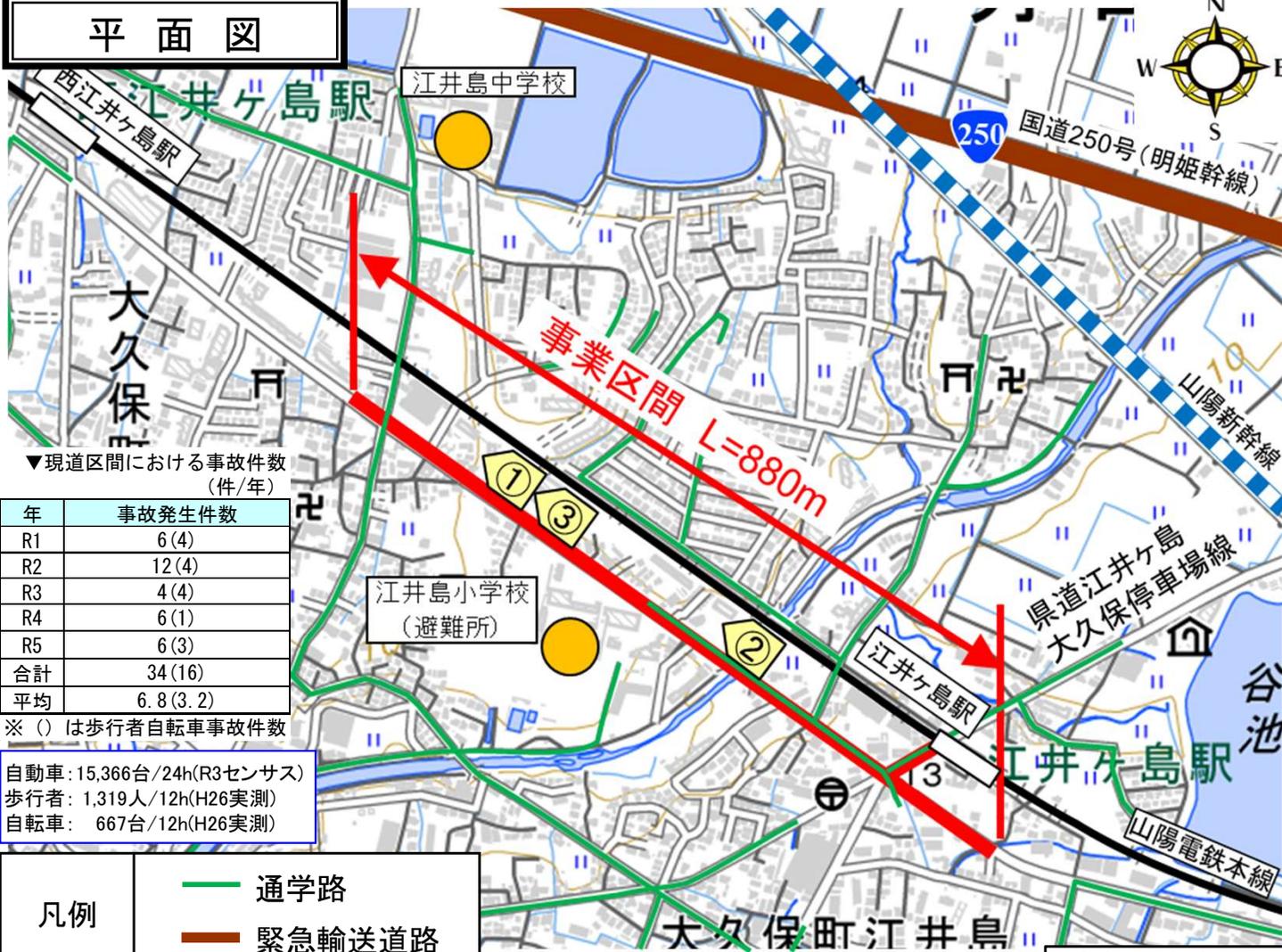
横断図



事業の必要性・優先性

- ①沿道には小中学校及び山陽電鉄江井ヶ島駅が立地し、多くの学生等が利用しているが、狭く不連続な歩道しかないため、安全に通行できる歩道等の設置が必要。
- ②緊急輸送道路を補完する道路であり、広幅員化により、建物火災や倒壊等が発生した際でも通行できる道路として、防災機能の強化を図る必要がある。

平面図



現況写真

①狭い路肩を通行する歩行者



②自転車の通行スペースがなく危険

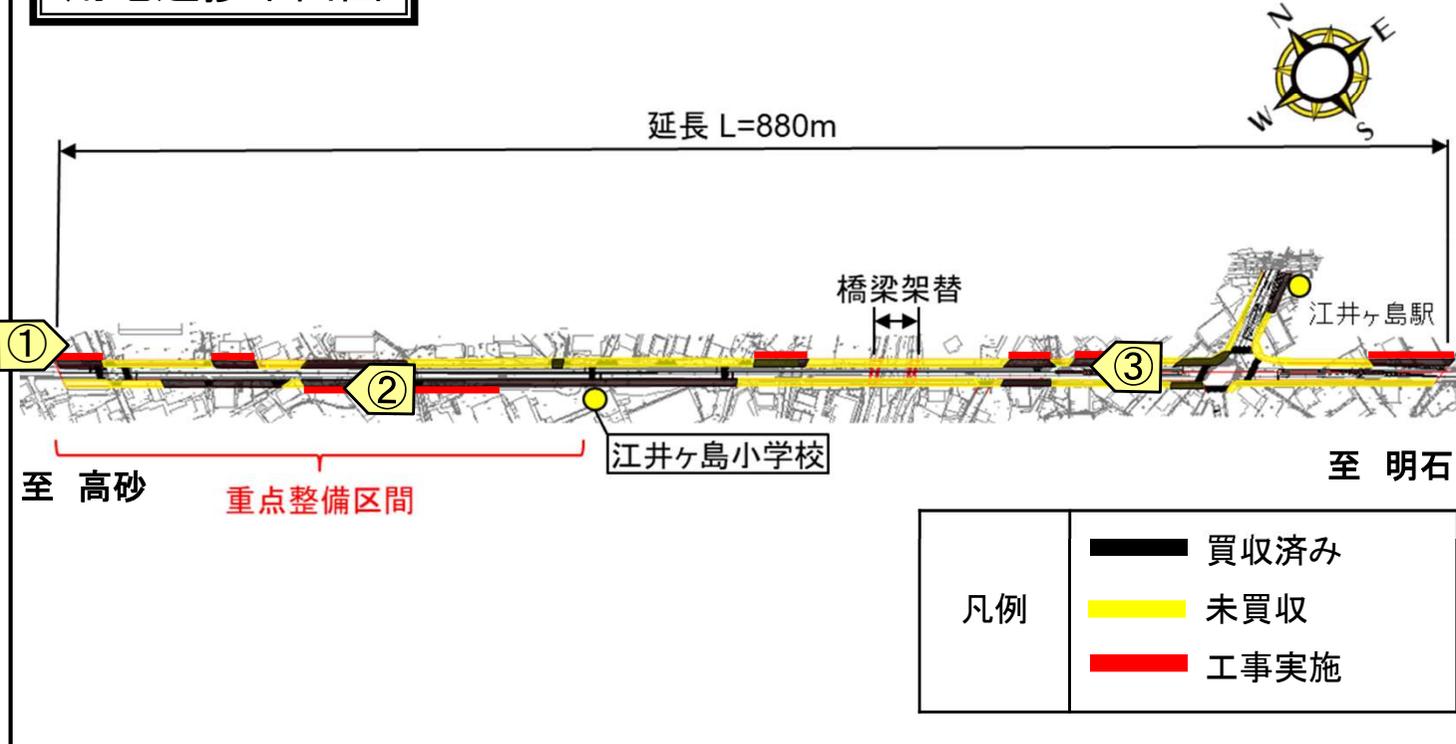


③大型車の通行時の状況



進捗状況

用地進捗平面図



工程表

■ : 前回計画
■ : 実施・計画

工種	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
調査・設計	■	■												
用地補償		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
道路改良工事				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

〔用地買収済箇所の施工〕

現況写真

①整備状況(用地買収済箇所の施工)



②整備状況(用地買収済箇所の施工)



③整備状況(用地買収箇所の施工)

